

福垣内議員

Q 妊産婦無料健診の拡大を。

A 国の動向等を踏まえながら、検討を行っていく。

(清代健康課長)



Q 国の予算における妊産婦無料健診費用の助成で、今までは2回分が地方交付税措置として国の予算に計上されてきた。それが、平成19年度には子育て支援事業として大幅に拡充される。熊野町において、妊産婦無料健診の回数増はどうか。

A 経済的理由により、受診が出来ないことを生じさせないため、生活保護世帯や町民税非課税世帯について、通常の2回分に4回を加えた、計6回分の対応をしている。また、健診の重要性・必要性について、広報や妊娠届出時、マザークラス等を通じて周知を行っている。回数の増加については、国等の財源措置を踏まえ検討していく。

山野議員

Q 福祉用プールの設置計画はないか。

A 経費等の問題もあり、現段階では考えていない。

(清代健康課長)



Q 福祉用プールの設置は、町民の長年の希望である。小規模で健康のためのリハビリ用が、南県営跡地にできないか。

A 温水プールについては、町民の健康への関心も高く、現在は近隣の施設を利用する状況にある。仮に建設をする場合、小規模のプールでも億単位の建設費や維持管理費等相当の費用が掛かることから、民間の活用等について研究するとともに、当面は近隣施設の利用を含め、効果的なりハビリ、高齢者の介護予防等について検討していきたいと考えている。